沖縄県立名護高等学校・附属桜中学校

夢 実 現

【学校通信】11号
令和7年1月9日
発行者
校長　遠越　学

3学期スタート

挑戦

令和７年１月６日(月)３学期始業式が行われました。
明けましておめでとうございます。「Always Be Challenger」新年の決意として、挑戦を掲げました。「挑戦なくして成長なし」巳年にちなんで、今の自分から脱皮して、挑戦していきましょう。校長として、名護高校、附属桜中学校がさらに発展し、みなさんの学校生活がより充実したものになるよう私自身も更に挑戦を続けていきます。
年明けと同時に、年度としては最後の３学期でもあります。自分の未来に繋げていくために、どのように締めくくるのか「アウトプット」を意識しながら、身近な目標と計画を持ち、チャレンジして、最後にみんなで「ありがとう」と言える充実した3学期になるよう、全員で誓いました。
始業式の後、３学期ホームルーム役員認証式が行われ、代表の１年３組岸本実璃さんが役員を代表し、充実した３学期となるよう取り組んでいくと力強い決意表明をしてくれました。
「人は努力が必要。どうしてもできないことは誰かを頼ろう。その分自分が得意なことやできることで必ず誰かを支援してあげよう」全員がその気持ちを持って、「サイコーの名護高校」を進化させるようみんなで「がんばろう～」

「自分を信じて挑む」

いよいよ18日(土)、19日(日)共通テストがやってきます。１４８名の３年生が挑みます高校生活３年間を部活動も生徒会活動も頑張りながら学習と両立してきた人もたくさんいます。自分の「夢と目標」のために日々努力してきたその成果を発揮するときです。諦めたらそこで試合終了。やることはやったのだからあとは、自分を信じて、最後まで楽しんでもらいたい。当日は緊張もするし不安にもなる。それが当たり前だし頑張ってきた証拠です。

「緊張してるな」と思ったら天井を見て思い切り目を見開き、前を向いて一言だけ「大丈夫」とつぶやいてください。全員の検討を祈っています。
「がんばろう～」

今年も幕開けは「かぎやで風」

始業式を前に今年の幕開けを１年生３名、２年生８名、職員２名の１３名の生徒、職員有志によるかぎやで風で盛り上げてくれました。華麗な舞と、三線、箏、胡弓で美しい音色を奏で、新年の雰囲気に１０２０名の全校生徒が釘付けとなり、穏やかな気持ちと新たな年を迎えるにふさわしい雰囲気を作ってくれました。みなさん本当にありがとう。

台湾修学旅行報告会
普通科2年生が桜中へ語る

今年度、普通科２年生は台湾の修学旅行に行ってきました。３泊４日で、総統府や中正記念堂、行天宮、衛兵交代式の見学もあり、夜は独特の文化の一つでもある士林夜市を散策しました。そして、熱烈歓迎を受け貴重な体験をしたのが「桃園私立治平高級中学校」との交流でした。様々な経験をした高校２年生が、台湾の学校と国際交流をしている桜中学校の生徒に、実際に台湾を肌で感じたことについて「ライフスタイル」「教育」「若者文化」など、中学生が興味を持つ９つのテーマで報告してくれました。

香港教育視察団来校

香港の教育関係の方々が、視察のため来校されました。副校長など、各学校の代表の先生方が来校し、桜中学校を視察されました。多様な学校からの先生方であったため、多くの情報交換をしたことはもちろんのこと、２年生の英語の授業で、香港の先生方と英語で会話したり、国語の授業では、本場の方に漢詩を読んでもらったりしました。国際理解教育を推進する本校では様々な交流を行っていますが、今回も多くの刺激をもらい、貴重な体験となりました。

吹奏楽部 定期演奏会

１２月２６日（木）吹奏楽部による第４９回定期演奏会が名護市民会館大ホールで行われました。今年の吹奏楽部は、各コンクールで金賞や銀賞を受賞したほか、沖縄アリーナで琉球ゴールデンキングスの試合において、「ライオンキング」を披露するなど、多くの活躍をしてきました。当日は、主体的な演出で感動的でした。ＯＢ・ＯＧも、３年生最後の演奏会に華を添えていただき感謝です。ご来場いただきました皆さまに感謝するとともに、次年度は５０回の記念演奏会を行う吹奏楽部へ更なる応援をお願いします。